

写真提供：山中環さん



検査機器：GE社製LOGIQe

検査費無料・要予約

甲状腺エコー検査

検査を希望するお子さんを募集します♪

日時：2017年 **12**月**23**日 **土** 10:00~15:00

会場：**角田市市民センター**

検査対象：5才以上～25才以下の方（2011年の原発事故当時18才以下の子ども）

検診医：**溝口 由美子 医師**（光ヶ丘スパーマン病院小児科・仙台市）

費用：無 料

予約方法：完全予約制（定員50名・先着順）。事前に下記連絡先へお申込み下さい。

主催・お申込み先 **放射能問題支援対策室いずみ**

Tel **022-796-5272**（平日9時～17時）

E-mail izumi@tohoku.uccj.jp <http://tohoku.uccj.jp/izumi/>



甲状腺エコー検査を通して確認しましょう！

2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故により、多種多様な放射性物質がサイト外部にでてしまいました。事故直後の国の評価では放射性ヨウ素は放射性セシウムの約10倍放出されたとされています。初期被ばくの主役である放射性ヨウ素の拡散については未解明のことが多く、一人一人の正確な被ばく量の評価が困難です。体内での放射線被ばくの影響は時間をかけて現れてくる可能性があり、とりわけ、放射性ヨウ素の影響が最も現れやすいとされる甲状腺の状態を把握・確認するための方法のひとつが甲状腺検査です。

2011年10月以降、福島県内では震災当時18才以下だった子どもを対象に、政府予算による甲状腺検査などが行われています。一方、丸森町を除き、宮城県では公的な健康調査（甲状腺検査）は行われていません。私たち「いずみ」は、宮城県内においても放射能に関する子どもたちへの健康影響を長期的・慎重に見守る具体的な取り組みが必要と認識し、各地域の市民・住民の方々と協力しながら宮城県内各地でのべ2000人以上の甲状腺検査を実施してきました。（2014年10月以降、角田市内では4回目の実施となります。）

この度実施するのは、甲状腺に病変があるかどうか、経過観察が必要かどうかを調べる超音波（エコー）検査です。超音波検査は身体に害がなく、痛みもありません。検査にかかる時間はお一人3～4分程度ですぐに終わります。保護者の方と検査画像を一緒に見ながら、検査結果については医師が説明を行い、検査写真を含めた報告書をお渡しします。

検診は無料で行い、震災当時18才以下の希望者（現在5才以上の子ども）ならどなたでも受診できます。リピーターのお子さんも歓迎です。事前のご予約をお願いいたします。

放射能問題支援対策室いずみ

